

夜汽車の女 (1972)

メディア 映画

ジャンル エロティック ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 71分

初公開日 1972/07/19

公開情報 日活

映倫 R-18

【解説】

宮下教雄の脚本を田中登が監督したロマンポルノ。長谷川和彦が助監督を務めた。

考古学者の水城元には二人の娘がいた。姉の裕美と妹の冴子は異常なほど仲が良く、二人は都心から離れた閑静な高級住宅街に住んでいた。しかし裕美に縁談の話が持ち上がると、冴子はそれを邪魔しようとするのだった。縁談の相手は父の研究室で働く有川だったが、有川は水城家の遺産が目当てだった。冴子は有川を誘惑し、有川は冴子との結婚を決意。しかし有川は元から、冴子は不義の子であり、裕美と結婚しなければ財産は相続させないと言われてしまう。有川と妹とのことを知った裕美は一人で信州へ旅立った。有川は彼女を追いかけ、冴子はそんな二人を追うため夜汽車に乗り込むのだった。

【クレジット】

監督 田中登

企画 三浦朗

脚本 宮下教雄

撮影 山崎善弘

美術 川崎軍二

編集 鈴木暁

音楽 坂田晃一

助監督 長谷川和彦

出演 田中真理

続圭子

桂知子

丹古母鬼馬二

山口明美

雪丘恵介

織田俊彦

影山英俊

三川裕之